

4/6
(水)

頑張れ！福島ユナイテッドFC 今シーズンからホームタウンへ

伊達市役所

ceremony

福島ユナイテッドFC 代表取締役社長の鈴木勇人さんが市役所を訪れ、ユニホームを須田市長に手渡しました。今シーズンから伊達市がホームタウンとして加わることが決まったことから贈呈されたもので、須田市長は「サポートしていきます。共に伊達市の農産物を全国にPRしてもらいたい」とあいさつしました。



で、須田市長は「サポートしていきます。共に伊達市の農産物を全国にPRしてもらいたい」とあいさつしました。

4/8
(金)

新たな市の魅力の発信拠点が 梁川分庁舎内にオープン

梁川総合支所

ceremony

新たな市の魅力の発信拠点として梁川総合支所1階に整備してきた「伊達市観光案内所」が完成し、開所式を行いました。須田市長は「情報発信の拠点として多くの方に利用していただき、市内を周遊してもらいたい」とあいさつしました。



案内所は毎日営業(※)で、観光案内、レンタサイクルの貸し出しなどを行っています。

※伊達市観光案内所：毎日営業（年末年始は休業）9～17時

4/18
(月)

災害時の通信復旧に協力 東日本電信電話(株)と伊達市が協定

伊達市役所

agreement

締結式で須田市長は「災害時の通信を守るのは重要任務なので心強い」とあいさつ。一方、東日本電信電話(株)福島支店の畠山良平支店長は「平時から連携を密にしたい」と話し、協定書を取り交わしました。協定により互いに情報提供をすることや必要な資材の確保、避難所への特設公衆電話設置などで協力し合うことを確認しました。



により互いに情報提供をすることや必要な資材の確保、避難所への特設公衆電話設置などで協力し合うことを確認しました。

3/24
(木)

排水ポンプ車による緊急排水業務の支援に関する協定を締結

伊達市役所

agreement

伊達市建設業協会との排水ポンプ車による緊急排水業務の支援に関する協定締結式を市役所で行いました。須田市長は「市民を水害から守るため協力をお願いします」とあいさつしました。この協定は、市独自で導入した毎分30トンの排水能力のあるポンプ車2台を、浸水被害の際に運転など緊急排水作業を支援するものです。



市独自で導入した毎分30トンの排水能力のあるポンプ車2台を、浸水被害の際に運転など緊急排水作業を支援するものです。

3/30
(水)

ふくしま田園中枢都市圏形成に係る連携協約を締結

ウェディング エルティ

agreement

福島市と近隣の9市町村が協力して人口減少対策などに取り組む枠組み「ふくしま田園中枢都市圏」の連携協約締結式が行われました。県内では「こおりやま広域連携中枢都市圏」に続き2例目。この取り組みには、産業・広域観光の推進などが盛り込まれ、既に、子どもを対象にした新型コロナワクチン接種の集団接種などで協力しています。



産業・広域観光の推進などが盛り込まれ、既に、子どもを対象にした新型コロナワクチン接種の集団接種などで協力しています。

4/6
(水)

元気いっぱいに入場 市内小中学校で入学式

梁川小学校

ceremony

梁川小学校では72人が入学し、保護者が見守る中、期待に胸をふくらませ、笑顔いっぱいに入場しました。平久井 淳 校長は「しっかり勉強してください」と述べ、新1年生を代表して浅見琉星さんが教科書を受け取りました。今年度は小学校394人、中学校387人がそれぞれ入学し、新たな学校生活が始まりました。



受け取りました。今年度は小学校394人、中学校387人がそれぞれ入学し、新たな学校生活が始まりました。